

POWER FILE ★ 1143

FM
94.9

「もったいない」を
「ありがとう」に

ご家庭で余った食品を支援の必要な人におすそ分け
「フードドライブ」にご協力ください！

「特売で買ってしまった」「たくさんいただいたお中元、
食べ切れそうにない」ご家庭に余っている食品があったら、
フードドライブにおすそ分けしていただけますか？
福祉施設や支援団体を通じて、ひとり親世帯など
支援を必要とする方々に無償で提供します。

KBS京都ラジオ×NPO法人セカンドハーベスト京都 フードロス問題に取り組む新プロジェクト 『なくそう！食品ロスキャンペーン！』

食べられるのに捨てられるフードロス問題と向き合おう！

「つい買い過ぎてしまった！」「たくさんもらったけれどこんなに食べられない！」。そんな「もったいない」食料を、求める人たちのもとへ届けるために、KBS京都ラジオは京都市ごみ減量推進会議のサポートのもと、NPO法人セカンドハーベスト京都と協働で『なくそう！食品ロスキャンペーン』を今年7月にスタートさせました。食品ロスの減少と生活困窮世帯への支援を目的としています。

年間約2,843万トンもの食品廃棄物が発生するという日本。そのうち食べられるのに捨てられている食品ロス（フードロス）が、約646万トンを占めています。京都府だけでも13万トンから17万トンの食品ロス。この「もったいない」現状が、近年社会問題となっています。

この問題に積極的に取り組んできた団体のひとつが、今回KBS京都ラジオがタッグを組むNPO法人セカンドハーベスト京都。余剰食料を集める運動「フードドライブ」を行い、食の支援が必要な人や団体に無償提供する「フードバンク」として活動しています。

KBS京都ラジオはみなさんから余剰食品を受け付ける『フードドライブBOX』を常設し、協働団体を通じて生活困窮世帯へ提供。ほかにも、KBS京都ラジオならではの放送やイベントを通じて、食品ロス問題をひろく知っていただく活動を展開していきます。

澤田理事長がラジオ出演。こどもたちの笑顔のために。



キャンペーンスタートに合わせて、7月18日（木）の『さらピン！キョウト』（月～木／14時～17時）にNPO法人セカンドハーベスト京都の澤田政明理事長が生出演。食品ロスをめぐる話題から普段の

活動、キャンペーンについてまで、さまざまなお話を伺いました。聴き手は、木曜パーソナリティの梶原誠アナと鶴飼秀徳さん。澤田理事長から、日本で一年間に発生する食品ロスの量が、世界中の難民や被災者に緊急支援する食品援助量の約2倍相当と聞いて、改めて問題の深刻さに驚きます。

もともと、アメリカで始まったフードバンク活動。1960年代のことだ

ったといいます。セカンドハーベスト京都は2015年に活動を始め、フードバンクの法人としては京都初となりました。なかでも力を注いでいる『こども支援プロジェクト』は、関西初の試み。給食のない長期休暇中、フードバンク活動で集まった食品を、就学援助を受けている子育て世帯へ直接届ける活動です。そろそろ夏休みに突入する時期。今夏も希望する世帯の子どもたちへ、みなさんからの支援を届ける予定と澤田理事長は話しました。



梶原アナはもちろん、日本社会を取り巻く問題に鋭い眼差しを向ける鶴飼さんも、興味津々。取り組みの意義に賛同し、活動のひろがりに期待を寄せました。

KBS京都にもBOXを設置。フードドライブのルールも発信。



澤田理事長の番組出演を号砲に、KBS京都ラジオでも『なくそう！食品ロスキャンペーン』が始動。局内東玄関に設置した『フードドライブBOX』で、食品の受付をスタートさせました。時間は月曜日から金曜日の9時から18時までです。

常温で保存できるもの、賞味期限が1ヵ月以上あるもの、未開封で破損していないもの、アルコールはNGといった、安全な食品提供のためのルールも、ラジオを通じて発信します。また、お米や乾麺、レトルトやお菓子などニーズが高く、喜ばれるものも紹介。缶詰ひとつでもOKですので、もしご家庭で消費し切れない食品があれば、ぜひご協力ください。

あなたの「もったいない」と思う心を、誰かの笑顔に代える活動。『なくそう！食品ロスキャンペーン』に、みなさんのご支援をお待ちしています。

